

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 高清水・瀬峰地区

宮城県沖地震(単独型)の場合

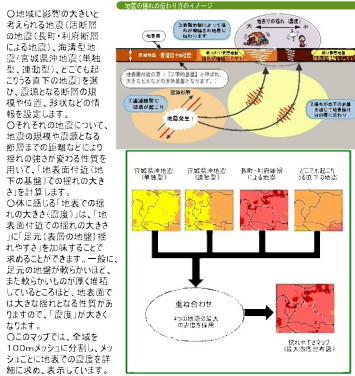
○ この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。

○ この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模で同じように繰り返し起きていると考えられています。今後30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード 7.6 を想定しています。

○ なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

■ マップの作成手順

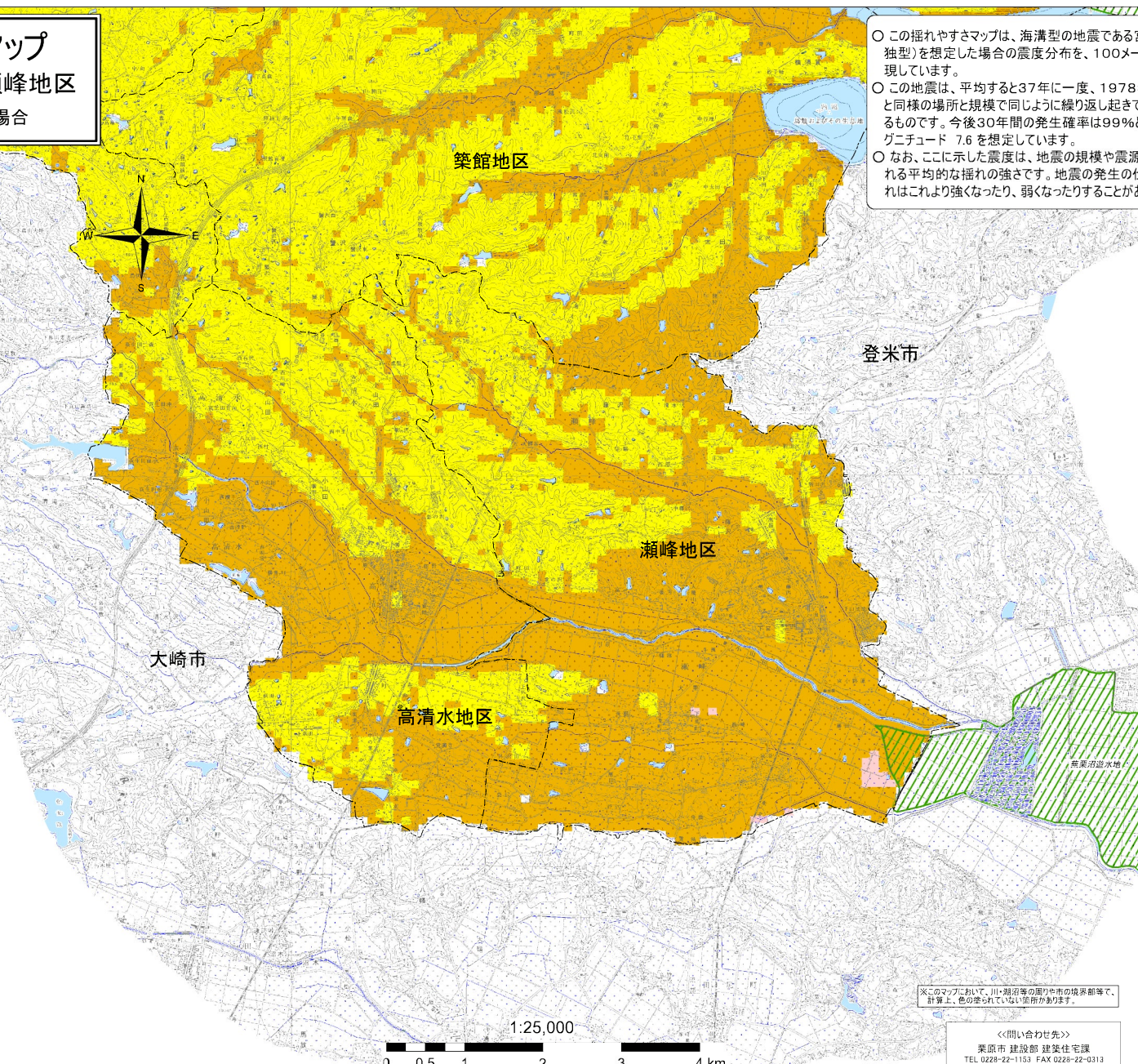
このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。



■ 震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起ったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は、大きく分けて2つあります。1つは、地震の発生時刻から、地震計が記録した地震の震動の大きさ(振幅)を測り、震動の大きさから震度を算出する方法です。2つ目は、地震発生時刻から、地震計が記録した地震の震動の大きさ(振幅)を測り、震動の大きさから震度を算出する方法です。

震度階級	人間	屋外の状況	屋外の状況	水運船舶
震度1	大抵の人は気づかない。			
震度2	静かに寝ている人の約1割は気づく。			
震度3	静かに寝ている人の約1割は気づく。	静かに寝ている人の約1割は気づく。		
震度4	静かに寝ている人の約1割は気づく。	静かに寝ている人の約1割は気づく。		
震度5	静かに寝ている人の約1割は気づく。	静かに寝ている人の約1割は気づく。		
震度6	静かに寝ている人の約1割は気づく。	静かに寝ている人の約1割は気づく。		
震度7	静かに寝ている人の約1割は気づく。	静かに寝ている人の約1割は気づく。		



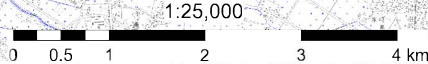
凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱(1)
- 震度6弱(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の溜りや市の境界部等、計算上、色の塗られていない箇所があります。

<<問い合わせ先>>
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検、第980号)